

(様式第1号)

## 自己評価及び外部評価結果票

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4170200291		
法人名	有限会社 ハート		
事業所名	グループホーム安庵		
所在地	佐賀県 唐津市 佐志 1156-26		
自己評価作成日	令和元年9月30日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp">www.kaigokensaku.mhlw.go.jp</a>
-------------	--

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	令和元年11月28日	外部評価確定日	令和2年1月10日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

唐津市、唐津湾、唐津城、日本三大松原と言われる虹ノ松原が一望できる高台に位置するグループホーム2ユニットです。入居者様はもとより、訪問者の皆様にも「景色が良いですね、ほっとします」といった言葉を頂くことが多く、四季折々の移り変わりを楽しめる事もアピールの一つです。施設は開設から15年になり、入居者様も高齢となられてますが、出来ることを探し一緒に洗濯たたみ等家事作業等して頂いたり家庭的雰囲気毎日過ごしています。外に目を向ければ緑豊かで、散歩、ドライブ、日光浴を行うよう努めております。施設内は、不快な臭いがないように換気、消毒には十分に気を付けています。職員も、理念に挙げているように、入居者様お一人お一人のペースを把握して、ご利用者中心の自然な介護を提供出来るよう日頃から努力しています。最近では犬、猫と動物を飼っていてアニマルセラピーの効果もあり入居者、職員とも穏やかに日常が送れています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

高台に位置しており自然豊かで、道路からも少し離れた場所に立っている為、とても静かな環境である。近隣に民家は少ないが、他法人の施設が2施設、同法人の施設も近くにあるため、避難訓練や会議、行事など協力して行っており、たくさんの交流がある。犬や猫を飼う事も可能であり、一緒に生活されてある入居者にとって、精神的な安定にもつながっている。毎日の散歩に職員や複数の入居者で行くなど、動物を飼う事で外出の機会も増えている。入居者は落ち着いており、リビングや自室で思い思いに過ごされていると感じる。毎月の広報誌を作成しているが、入居者それぞれに写真やコメントなどが違い、一人ひとりを大切にされている事が伺え、この広報誌はご家族からとても喜ばれている。管理者は、今の時代の流れをしっかりと汲み取り、職員一人ひとりの意見や思いを聞く気持ちを持っており、それが働きやすい職場にもつながっている。また、看取りを行うだけではなく、胃ろうなどの入居者も受け入れ、重度への対応もされている。必要であれば職員の教育や研修なども行ったり、受けてもらう機会を作り、職員の質の向上にもつなげている。

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	日常に目につくところに(玄関・リビング・職員用トイレ等)掲示している。	日常に目につくところに(玄関・リビング・職員用トイレ等)掲示している。	理念は、法人で作られたものと地域密着型サービスの意義を踏まえて職員が作ったものがある。職員が目につくようにリビングやトイレに掲示してあり、毎日見る機会を作っている。研修に行った時などは職員と理念を共有する機会を設けている。また、ケアで悩んだ時は「理念に立ち戻って実践できていれば間違いはない」と職員同士の会話の中でも聞かれ、浸透している事が伺える。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議をきっかけに地域の文化祭に作品を展示したり、お祭りに参加したり、お祭り行事の一つである獅子舞の施設訪問を受けるなど、交流を図っている。 近隣の施設の夏祭りや花火大会などへも参加させて頂いている。	運営推進会議をきっかけに地域の文化祭に作品を展示したり、お祭りに参加したり、お祭り行事の一つである獅子舞の施設訪問を受けるなど、交流を図っている。 近隣の施設の夏祭りや花火大会などへも参加させて頂いている。	近隣は家が点々としているため、近所付き合いはあまりないが、同法人の施設や他施設が2施設あるため、施設同士の付き合いは深い。地域の情報は運営推進会議などをきっかけに、区長、民生委員などからもらっている。地域の行事や作品の展示などを見に出かけている。近所のゴミ当番などは、同法人内の施設で担当を振り分け、地域に協力している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議に多方面から出席して頂いている方へ、認知症の人の行動、症状などについて意見交換を行っています。	運営推進会議に多方面から出席して頂いている方へ、認知症の人の行動、症状などについて意見交換を行っています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者様の状況、サービス内容や行事の報告を行い、出席者より意見をいただいた事についてはスタッフの全体会議で検討して、その後の提供サービスに活かしている。	利用者様の状況、サービス内容や行事の報告を行い、出席者より意見をいただいた事についてはスタッフの全体会議で検討して、その後の提供サービスに活かしている。	運営推進会議では、グループホームの状況や行事などの報告を行っている。推進委員から運営のついで意見はあまりないが、横断歩道を付けてもらったり、視界が悪くなっている木を切ってもらったりなど環境面も協力してもらっている。推進委員に交番の方もおられ、不審者や不審火などの注意喚起やバイクで巡視されたり、交番の立ち寄り所にもなっているため、安心にもつながっている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	日頃より気になる事や、分からない事などは、介護認定係や高齢者支援課などに問い合わせをしている。	日頃より気になる事や、分からない事などは、介護認定係や高齢者支援課などに問い合わせをしている。	市の職員とは他事業所の会議でも顔を合わせる機会があるため、合う頻度は高い。分からない事はすぐに尋ね、教えてもらっている。電話で聞くこともあるが、とても協力的である。運営推進会議でも顔を合わせるため、情報を教えてもらったりもしている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	「身体拘束排除宣言」内容を記載したものを提示して身体拘束ゼロを目指して実践しています。	「身体拘束排除宣言」内容を記載したものを提示して身体拘束ゼロを目指して実践しています。	玄関の施錠は行っていない。ブザーが鳴るためその時は見守りや付き添いを行っている。見守りが必要な方は、目の届く所にお部屋を配置するなどし、身体拘束をしないよう配慮している。勉強会も年に2回行い、職員の理解に繋げている。職員の声かけなど気になる時は、その都度注意している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	施設外研修に向いて学ぶ機会を持ち、伝達講習を行っている。	施設外研修に向いて学ぶ機会を持ち、伝達講習を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	施設外研修に向いて学ぶ機会を持ち、伝達講習を行っている。	施設外研修に向いて学ぶ機会を持ち、伝達講習を行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書を読み上げ、利用者、家族様の不安や疑問点を伺い、時間をかけて納得して頂けるよう努めている。	契約書を読み上げ、利用者、家族様の不安や疑問点を伺い、時間をかけて納得して頂けるよう努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	月1回行う運営会議(理事長、各棟の管理者、主任)は、各棟で行っている。全体会議で協議し、改善するように努め運営に反映させています。	月1回行う運営会議(理事長、各棟の管理者、主任)は、各棟で行っている。全体会議で協議し、改善するように努め運営に反映させています。	ご家族からは面会時に、普段の状況を伝えるようにし、その時に意見を聞くようにしている。玄関にも意見箱を置いている。家族と一緒に行う花見や秋祭りなどの行事でも、意見を聞くよう心掛けている。利用者とは毎日外出の機会があり、散歩中などに意見を言われることがあるため、気がけて聞くようにしている。介護相談員も1か月に1回訪問されており、外部の意見も聞く機会がある。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の全体会議で話し合い、改善するように努め運営に反映させています。	職員の全体会議で話し合い、改善するように努め運営に反映させています。	毎月行っている職員会議で、運営について話をしている。それ以外でも、管理者は、職員の話や要望などを聞くようにし、休憩室を増やしたり、ソファやエアコンなどを取り入れ、職員が過ごしやすいように気がけている。職員も管理者に意見が言いやすく、管理者も積極的に聞く姿勢を持っており、良い信頼関係ができていくことが伺える。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に1回(3月頃)個人面談を行い、悩み、希望を聞き、その個人を知るようにし、内容によっては顧問税理士、労務士に相談をしながら働きやすい環境を整備している。	年に1回(3月頃)個人面談を行い、悩み、希望を聞き、その個人を知るようにし、内容によっては顧問税理士、労務士に相談をしながら働きやすい環境を整備している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	個人のレベルにあった研修を施設内外を問わず平等に受ける事が出来るようにしています。	個人のレベルにあった研修を施設内外を問わず平等に受ける事が出来るようにしています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	唐津市内のグループホームの集まりで、月1回勉強会があり、その時は1号館、2号館より各1名ずつ出席してホームに持ち帰り、伝達講習を行いサービスの向上に努めている。	唐津市内のグループホームの集まりで、月1回勉強会があり、その時は1号館、2号館より各1名ずつ出席してホームに持ち帰り、伝達講習を行いサービスの向上に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人様の意向を聞き、ケアプランを作成して、説明するようになっている(同意して頂けたらサインを頂くようになっている)	本人様の意向を聞き、ケアプランを作成して、説明するようになっている(同意して頂けたらサインを頂くようになっている)		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族様の意向を伺い、プランを作成して、説明するようになっている。長期訪問のない方については郵送して理解を得るようになっている。	家族様の意向を伺い、プランを作成して、説明するようになっている。長期訪問のない方については郵送して理解を得るようになっている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族様の意向を聞きケアプランを作成して説明するようになっている(同意して頂いたらサインを頂くようになっている)	本人、家族様の意向を聞きケアプランを作成して説明するようになっている(同意して頂いたらサインを頂くようになっている)		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	理念に挙げていて、日頃から上目線ではなく、共に過ごし合えるように努めています。	理念に挙げていて、日頃から上目線ではなく、共に過ごし合えるように努めています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様の面会が遠退いている利用者様へは、寂しくない様に何とか月1回程度は外出する機会を設け、日頃からコミュニケーションを多くとるようにしている。	ご家族様の面会が遠退いている利用者様へは、寂しくない様に何とか月2回程度は外出する機会を設け、日頃からコミュニケーションを多くとるようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人様の希望を聞きながら、外出、ドライブ、自宅への帰省等支援している。馴染みの方の訪問時は、お茶、お菓子等お出しして、ゆっくりして頂けるようにしています。	本人様の希望を聞きながら、外出、ドライブ、自宅への帰省等支援している。馴染みの方の訪問時は、お茶、お菓子等お出しして、ゆっくりして頂けるようにしています。	近所の方や親せきの方が訪ねてこられた時は、お部屋でお茶を飲みながらゆっくり過ごされたり、他の利用者とも雑談したりと関係ができています。ドライブを希望される利用者はケアプランにも反映し、週に1回ドライブへ行き、馴染みの場所や人に会いに行っている。お盆や正月に外泊をされる方もいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	リビングやソファーにおき、利用者同士が話しやすいようにしている。	リビングやソファーにおき、利用者同士が話しやすいようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院されたらお見舞いに行ったり、電話をしたり、近くにおいでの際は、施設にも寄って頂けるようにしています。	入院されたらお見舞いに行ったり、電話をしたり、近くにおいでの際は、施設にも寄って頂けるようにしています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居時に本人、家族様に介護に対する意向を聞き、出来る限り本人本位でいられるようにしています。	入居時に本人、家族様に介護に対する意向を聞き、出来る限り本人本位でいられるようにしています。	入居時以外にも、ケアプランを更新する時に本人・家族から希望や要望を聞くようにしている。お話ができない入居者へは、家族から意向を聞くようにし、好きな飲み物や食べ物を提供している。また、自宅で使用していた、椅子や鏡台などを持ち込まれている方もいる。管理者は、ペットも家族の一員と考え、できるだけ一緒に過ごせるよう、犬や猫も住めるように配慮している。外出などの支援も、希望があれば行い、買い物の支援も行っている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日々コミュニケーションをとり、本人様との雑談の中から生活歴を聞き、又家族様から情報を得て、アセスメントに落とし込み把握するようにしています。	日々コミュニケーションをとり、本人様との雑談の中から生活歴を聞き、又家族様から情報を得て、アセスメントに落とし込み把握するようにしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々コミュニケーションを取り、フェイスシートに落とし込んで把握するように努めている。	日々コミュニケーションを取り、フェイスシートに落とし込んで把握するように努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的にサービス担当者会議を開き、それぞれの意見を聞き会議計画を作成しモニタリングを行っている。	定期的にサービス担当者会議を開き、それぞれの意見を聞き会議計画を作成しモニタリングを行っている。	家族の面会や電話でご家族の意向を聞いている。職員はケアをしている時や、気付いた時は月に1回行う職員会議時に意見を出し、ケアプランに反映させたり、変更したりしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	カルテの経過記録を熱計表は、日勤、夜勤、特別に変化があった時に記載する。又、スタッフ全員に伝えたい事は、伝達ノートに記載して、情報を共有して実践や介護計画に活用している。	カルテの経過記録を熱計表は、日勤、夜勤、特別に変化があった時に記載する。又、スタッフ全員に伝えたい事は、伝達ノートに記載して、情報を共有して実践や介護計画に活用している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ニーズに応じ、他の事業所の支援体制が取れるようにしている。(小規模多機能施設、有料老人ホーム、デイサービス等)	ニーズに応じ、他の事業所の支援体制が取れるようにしている。(小規模多機能施設、有料老人ホーム、デイサービス等)		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員、慰問のボランティア、警察、消防の方に協力して頂き、暮らしを楽しむことができるようにしている。	民生委員、慰問のボランティア、警察、消防の方に協力して頂き、暮らしを楽しむことができるようにしている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	希望される医療機関をかかりつけ医とし、必要に応じて往診が受けられるようにして、定期受診は、家族が付き添う。出来ない時は職員が対応している。	希望される医療機関をかかりつけ医とし、必要に応じて往診が受けられるようにして、定期受診は、家族が付き添う。出来ない時は職員が対応している。	かかりつけ医は自由に選択できるようになっている。急変時など、医師と密に連絡を取っていないと対応が難しい場合があり、ご家族はグループホームのかかりつけ医にする事が増えている。歯科も往診に来ている。眼科や皮膚科、精神科などは基本的に家族に付き添ってもらいが、難しい時は職員で対応している。透析や経管栄養の方も受け入れ、その際の受診は職員が行っている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ホーム内に看護師が居て日常の健康管理や適切な受診、看護が受けられるようにしている。	ホーム内に看護師が居て日常の健康管理や適切な受診、看護が受けられるようにしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中は定期的に面会に行ったり、電話をしたりして、医師、看護師と情報交換を行っている。	入院中は定期的に面会に行ったり、電話をしたりして、医師、看護師と情報交換を行っている。		



自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	時期が来たらかかりつけ医、看護師、スタッフで、終末期のあり方について話し合い、本人や家族に意向を確認し、対応方法を文書で説明、同意を得ている。	時期が来たらかかりつけ医、看護師、スタッフで、終末期のあり方について話し合い、本人や家族に意向を確認し、対応方法を文書で説明、同意を得ている。	看取りは行っている。金銭面で他施設に行かれることもある。看護職が3名いるため、職員の安心感につながっているが、職員が心の負担も感じている為、負担を減らすような教育を行っている。ご家族の意見を聞き、医師とも連携を図っている。透析の方、胃ろうの方など重度化に対応できるよう、職員を研修にやり、管理者自らも指導者の研修を受けている。吸引や胃ろうなどの技術を持っている介護職員を育成している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	応急手当、初期対応、救急救命の勉強会は行っている。	応急手当、初期対応、救急救命の勉強会は行っている。	/	/
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の協力を得て定期的訓練を行い(5月・11月)、消防、通報、避難誘導方法が見につくようにしている。	消防署の協力を得て定期的訓練を行い(5月・12月)、消防、通報、避難誘導方法が見につくようにしている。	水や米、缶詰、オムツやリネン類など備蓄品を揃えており、1週間分くらいの蓄えはある。年に2回の避難訓練を行っており、近隣の施設にも協力してもらい行っている。消火訓練やAEDの訓練も一緒に行っている。高台に施設があるが、大雨による土砂崩れなどが無い地盤である事を確認して建てている為、風水害などの不安は少ない。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日頃から尊厳を持って接する様に、理念や教訓を目につく場所に掲示して、本人の気持ちに配慮した言葉かけがさりげなく出来るようにしている。	日頃から尊厳を持って接する様に、理念や教訓を目につく場所に掲示して、本人の気持ちに配慮した言葉かけがさりげなく出来るようにしている。	職員が研修に行った際に復命などで研修を行っている。プライバシーの確保をする為に、トイレへの声かけなどを耳元で他の人に聞こえないように言ったり、排泄時には居室のドアを閉めたり、入浴時等はカーテンなどで目隠しをしたりして配慮している。職員の声かけが気になる時は、その都度、気を付けてもらうように伝えている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の思いを聞き、出来るだけ自己決定が出来るようにしている。	本人の思いを聞き、出来るだけ自己決定が出来るようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホーム内での全体の日課はあるが、中でもどのように過ごしたいか希望を聞き、ケアプランを作成して、個々に沿った対応をしている。	ホーム内での全体の日課はあるが、中でもどのように過ごしたいか希望を聞き、ケアプランを作成して、個々に沿った対応をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	理美容に関しては、訪問利用を利用したり、行きつけのある方は家族か職員が付き添い、その人らしい身だしなみが出来るように支援している。	理美容に関しては、訪問利用を利用したり、行きつけのある方は家族か職員が付き添い、その人らしい身だしなみが出来るように支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューは、本人の希望を聞きながら、又食べやすい形で提供し少しでも食べて頂けるように支援している。出来る利用者様には食事の準備、後片づけを手伝っていただく事もある。	メニューは、本人の希望を聞きながら、又食べやすい形で提供し少しでも食べて頂けるように支援している。出来る利用者様には食事の準備、後片づけを手伝っていただく事もある。	献立は、その日に食べたいものや冷蔵庫にあるものを利用して作っている。作ったものは日誌に記入し、献立がかぶらないような工夫もしている。減塩が必要な方の食事も対応し、刻んだりミキサーにかけなどの食事形態にも対応している。入居者と買い物へ行く事や、お盆を拭いてもらったり、箸を並べてもらったりなどできる事は手伝ってもらっている。職員と利用者が同じテーブルで食事をし、会話も弾み、家庭的な雰囲気がある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量は、朝、昼、夕とカルテに記入して、摂取量が少なければバイタルサインをチェックして医師に報告し指示を仰ぐ。 健康のバロメーターとして早期に異常の発見努め、お一人お一人に応じた支援を行っている。	食事摂取量は、朝、昼、夕とカルテに記入して、摂取量が少なければバイタルサインをチェックして医師に報告し指示を仰ぐ。 健康のバロメーターとして早期に異常の発見努め、お一人お一人に応じた支援を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、本人のレベルにあった口腔ケアを行っている。自力で出来る人、一部介助が必要な人、全介助が必要な人(必要に応じての支援)	毎食後、本人のレベルにあった口腔ケアを行っている。自力で出来る人、一部介助が必要な人、全介助が必要な人(必要に応じての支援)		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	頻回な見守りをして、排泄パターンを知り、そして把握できたら、さりげなくトイレに誘導する。	頻回な見守りをして、排泄パターンを知り、そして把握できたら、さりげなくトイレに誘導する。	全員ではないが、できるだけトイレでの排泄が継続できるよう、日中はトイレ誘導を行っている。オムツは個人負担だが、職員にもコスト面や検討の材料になるよう一覧表を作成するなどの工夫もされている。職員会議でも、排泄の研修を行ったり、排泄に関して職員同士しっかり話し合われている。トイレも広く、利用しやすい空間になっている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	旬の繊維の多い野菜を食材に多く取り入れ提供する。10時、15時はお茶したり、ホーム周辺を散歩したりと工夫している。	旬の繊維の多い野菜を食材に多く取り入れ提供する。10時、16時はお茶したり、ホーム周辺を散歩したりと工夫している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	一応曜日は決まっているが、作業後お風呂に入りたいとの要望があればシャワー浴を提供したり、ゆっくり入りたいという要望があれば納得されるまでの時間をかけて入っている。又入浴を拒否される方へは、時間を置き何度も声掛けを行うようにしている。	一応曜日は決まっているが、作業後お風呂に入りたいとの要望があればシャワー浴を提供したり、ゆっくり入りたいという要望があれば納得されるまでの時間をかけて入っている。又入浴を拒否される方へは、時間を置き何度も声掛けを行うようにしている。	週に3回の入浴を行っている。曜日は一応決めているが、ほぼ毎日沸かしているため、いつでも入りたい時に入れるようになっている。浴槽はリフトも対応しているため、重度になっても負担なく安心して入れるようになっている。脱衣所も広く、ヒーターなども準備されている。また、洗剤など危険な箇所目隠しがされており安全な配慮がされており、個人の保湿クリームなど個人の好みの持ち物なども持ち込まれている。温泉が好きな入居者はお湯を流して1時間くらい入られる方もいる。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	室温には気をつけ、エアコン、電気毛布、電気カーペット、ファンヒーター、湯たんぽ、空気清浄機、除湿器を使用したり、疲れて足が腫れている人には、足を高くしてたりして、居室、リビングで休息をとって気持ちよく眠れるように支援している。	室温には気をつけ、エアコン、電気毛布、電気カーペット、ファンヒーター、湯たんぽ、空気清浄機、除湿器を使用したり、疲れて足が腫れている人には、足を高くしてたりして、居室、リビングで休息をとって気持ちよく眠れるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬効、副作用が理解できるように一人一人の最新情報の薬の効能が書きを各個人のカルテに閉じて情報共有している。	薬効、副作用が理解できるように一人一人の最新情報の薬の効能が書きを各個人のカルテに閉じて情報共有している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居時に生活歴を聴取して、希望に添った楽しみ、役割の支援をしている。	入居時に生活歴を聴取して、希望に添った楽しみ、役割の支援をしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	買い物や散歩、ドライブ等、希望に添った外出支援に努めている。	買い物や散歩、ドライブ等、希望に添った外出支援に努めている。	希望を聞き外出の支援を行っている。春や秋などの季節が良い時は戸外に出て散歩に行くようにしている。以前植えた桜が、毎年見ごろになった時は花見をし、家族も一緒に楽しんでいる。車椅子の方も、近くのお店まで散歩に行く事もある。犬の散歩は1日3回、職員と入居者が行っており、途中で買い物をしたり、日常的に外へ出る機会がある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を所持したいと言う希望があれば1,000円程度は持てるようにして、又買い物の時など施設が立て替えるようにしている。	お金を所持したいと言う希望があれば1,000円程度は持てるようにして、又買い物の時など施設が立て替えるようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族や大切な人に電話が出来るように支援している。	家族や大切な人に電話が出来るように支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日頃より喚起をしたり快適な温度でいれるようエアコンを入れたりしている。又玄関には花を飾ったり、観葉植物を置いたりして居心地よく過ごせるようにしている。	日頃より喚起をしたり快適な温度でいれるようエアコンを入れたりしている。又玄関には花を飾ったり、観葉植物を置いたりして居心地よく過ごせるようにしている。	リビングは明るく、道路からも少し入った場所にある為、静かで空気も良い。臭いなども配慮されており全くない。手作りの季節の飾り物もリビングにはあり、春夏秋冬が感じられるようになっている。ソファも複数置いてあり、入居者それぞれに、ゆっくりと過ごされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングには自由に過ごせるようソファ等置き、談話したりテレビをみたり、思い思いに過ごせるようにしている。	リビングには自由に過ごせるようソファ等置き、談話したりテレビをみたり、思い思いに過ごせるようにしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	タンス、布団、テレビ等、使い慣れたものを持ち込み、本人が居心地よく過ごせるようにしている。	タンス、布団、テレビ等、使い慣れたものを持ち込み、本人が居心地よく過ごせるようにしている。	居室からは海が見え、見晴らしも良く、地区の花火大会も、居室から楽しめるようになっている。以前は仏壇を持って来られている方もあったが、それぞれにテレビや鏡台、布団など使い慣れたものを持ち込んでおり、自分の居場所になっている。季節外の物をしまえるような収納も、各居室に付いている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や 「わかること」を活かして、安全かつできる だけ自立した生活が送れるように工夫して いる	バリアフリーにして、段差をなくしたり、 廊下、トイレ、風呂等手すりをつけたり、 ナースコールを付けたりして出来るだけ自立した生活が送れるように している。日付、曜日が分かりやすいように 大きいカレンダーを使用している。	バリアフリーにして、段差をなくしたり、 廊下、トイレ、風呂等手すりをつけたり、 ナースコールを付けたりして出来るだけ自立した生活が送れるように している。日付、曜日が分かりやすいように 大きいカレンダーを使用している。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)				
※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
↓該当するものに○印をつけてください				
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。  (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。  (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。  (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。  (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。  (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。  (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。  (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。  (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。  (参考項目:2,20)			1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
		○	○	3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。  (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。  (参考項目:11,12)			1. ほぼ全ての職員が
		○	○	2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない